

佐久平スマートインターチェンジ フォローアップ資料

令和6年11月

佐久平スマートIC地区協議会

フォローアップ資料作成の目的

「スマートIC整備事業制度実施要綱」に基づき、佐久平スマートインターチェンジにおけるフォローアップを行うもの。

スマートIC整備事業制度実施要綱 <抜粋>

2. 地区協議会の設置

(5)地区協議会は、スマートICの供用後も継続して、その社会便益・安全性・利用交通量・管理・運営形態・利用促進方策等について、定期的にフォローアップし、必要に応じ見直すものとする。フォローアップは、供用後1年経過後速やかに1回実施し、以後必要に応じて実施するものとする。なお、従来の制度によるスマートICについても同様とする。

令和元年9月の要綱改正に伴い、
佐久平スマートIC地区協議会の規約も令和6年7月に改正を行いました。

佐久平スマートIC地区協議会規約 <抜粋>

第3条

2 協議会は佐久平スマートICの安全性の確保および利用促進策について、必要に応じてフォローアップを実施し見直しを行うものとする。

佐久平スマートインターチェンジの概要

位置図



所在地 : 長野県佐久市平尾
関越自動車道上越線
〈碓氷軽井沢IC～佐久IC間〉

社会実験: 平成16年12月
本格運用: 平成19年 4月

運用時間: 24時間

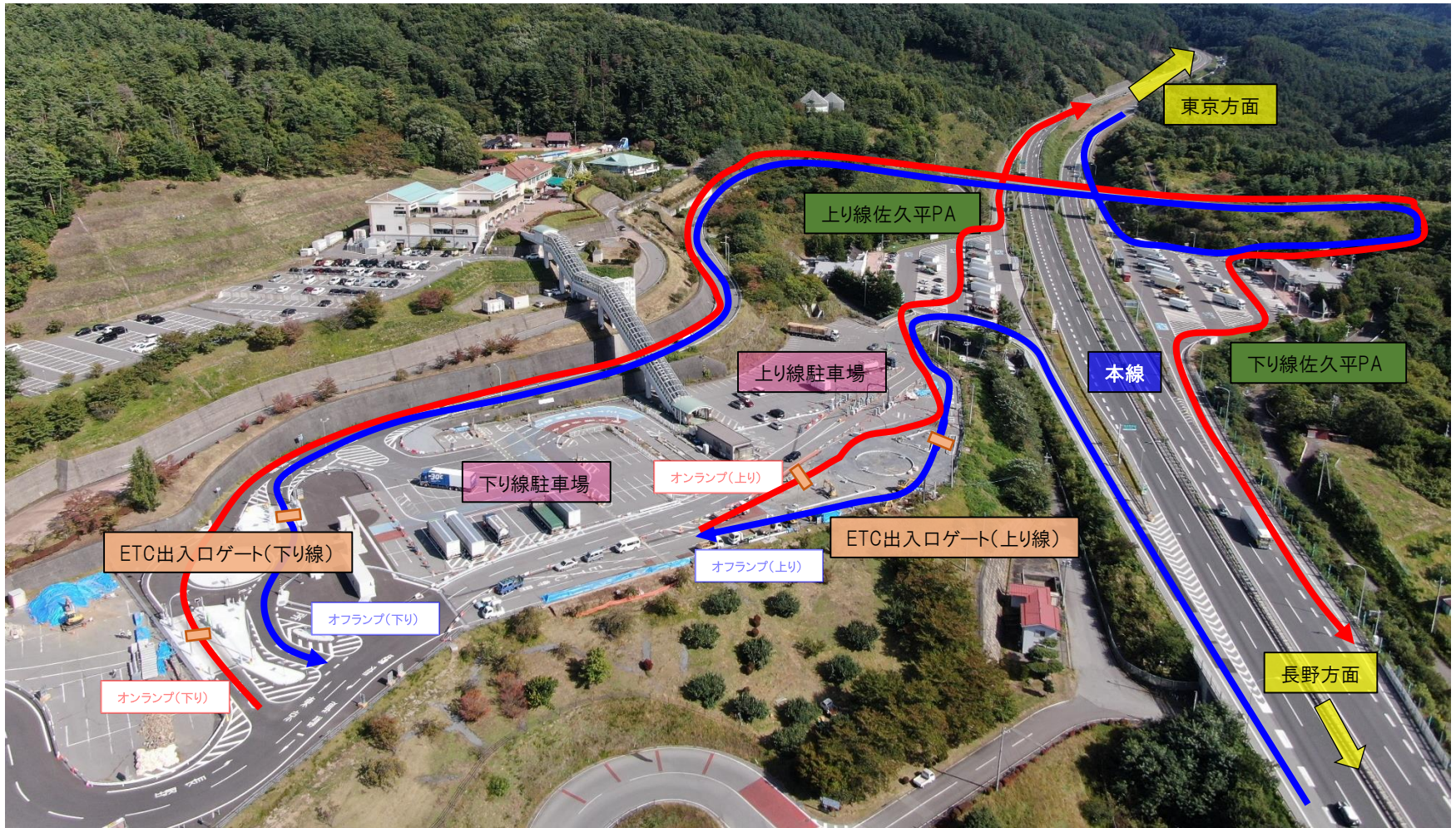
対応車種: ETC車載器を搭載した
全車種(L=12.0m以下)

方向 : 上下線フルインター

佐久平スマートインターチェンジの概要

佐久平スマートIC概略図

撮影: 佐久市広報広聴課

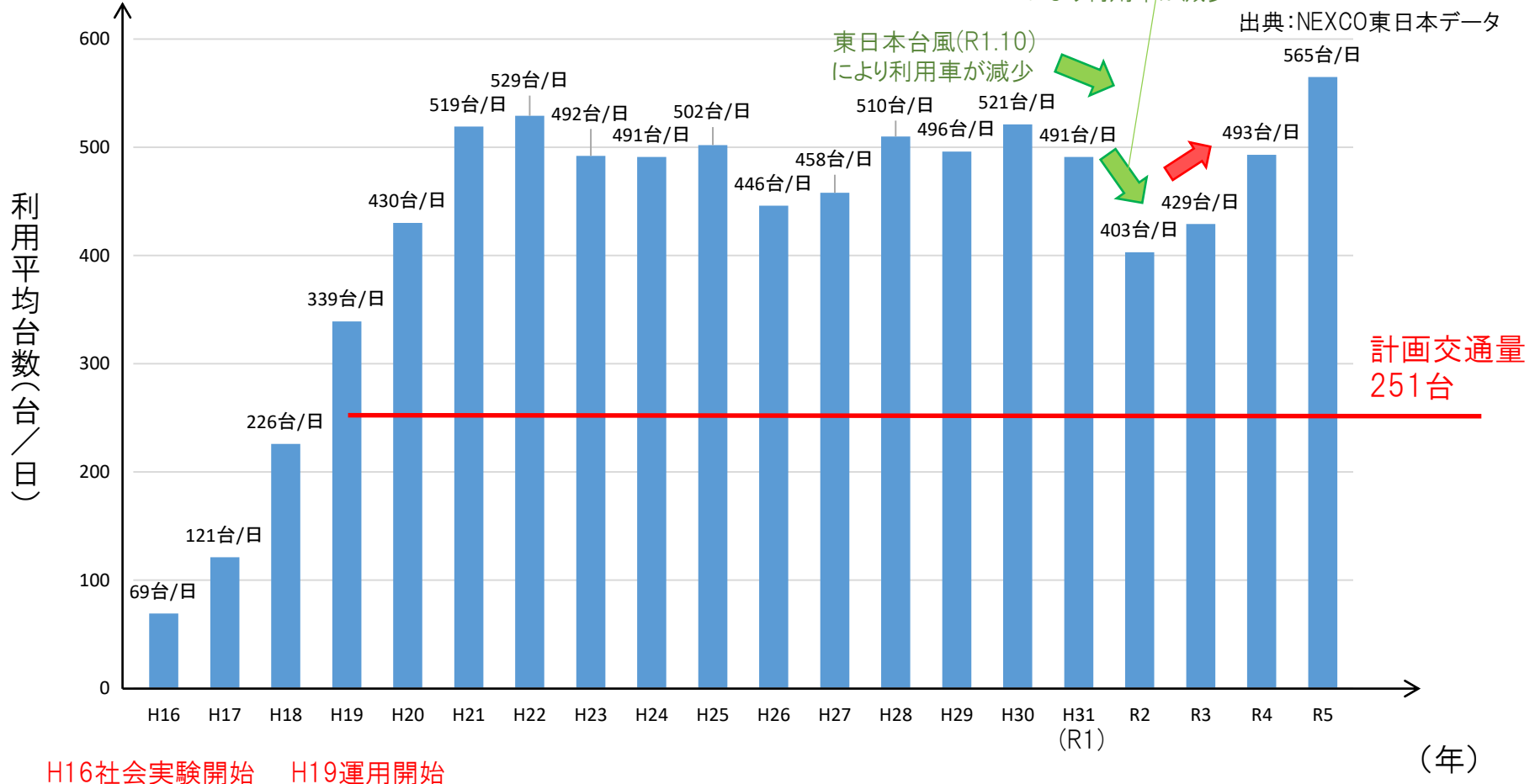


フォローアップの内容

- 1) 利用状況について
- 2) 整備効果について
- 3) 利用促進方策について

利用状況について

① 出入交通量の推移

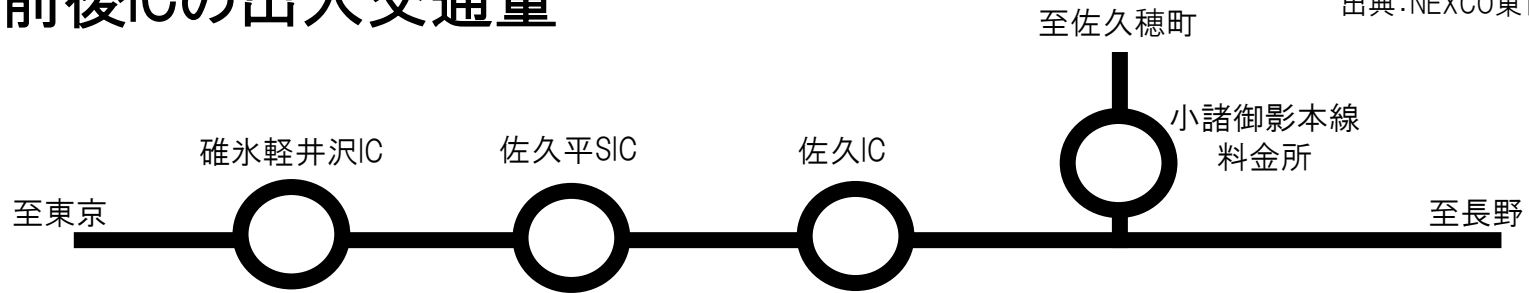


→新型コロナ流行後のR2年以降について交通量は減少したものの、出入交通量は計画交通量を上回っている。

利用状況について

② 前後ICの出入交通量

出典：NEXCO東日本データ



	碓氷軽井沢IC	佐久平SIC	佐久IC	小諸御影本線 料金所	合計
整備前 (H15年)	5,767台/日	—	8,698台/日	—	14,465台/日
社会実験期間 (H18年)	5,955台/日	226台/日	10,002台/日	—	16,183台/日
中部横断開通前 (H22年)	6,351台/日	551台/日	10,597台/日	—	17,499台/日
整備後 (R5年)	6,651台/日	565台/日	4,862台/日	8,063台/日	20,141台/日
(参考) H15年とR5の 増減	+884台/日	+565台/日	-3,836台/日	+8,063台/日	+5,676台/日

- 佐久ICを利用していた交通が中部横断道に転換したことにより減少したと考えられるため、前後ICの実績交通量として小諸御影本線料金所を含めて比較。
- 佐久平SIC整備後に中部横断道が開通したことにより、佐久ICの交通量がSIC整備前と比べて大幅に減少。
- 前後ICを含めた出入交通量の合計はSIC整備前を上回る。

整備効果について

■実施計画書に記載した社会便益

- ①高速自動車国道の有効利用
- ②佐久市及び周辺市町村の利便性向上（高速道路利用の向上）
- ③地域振興（地域産業の流通拠点、地域の営業利益の増収）
- ④佐久スキーガーデンパラダの活性化
- ⑤軽井沢方面等の渋滞緩和（高速道路への転換）
- ⑥災害発生時の支援物資等運搬路

整備効果について

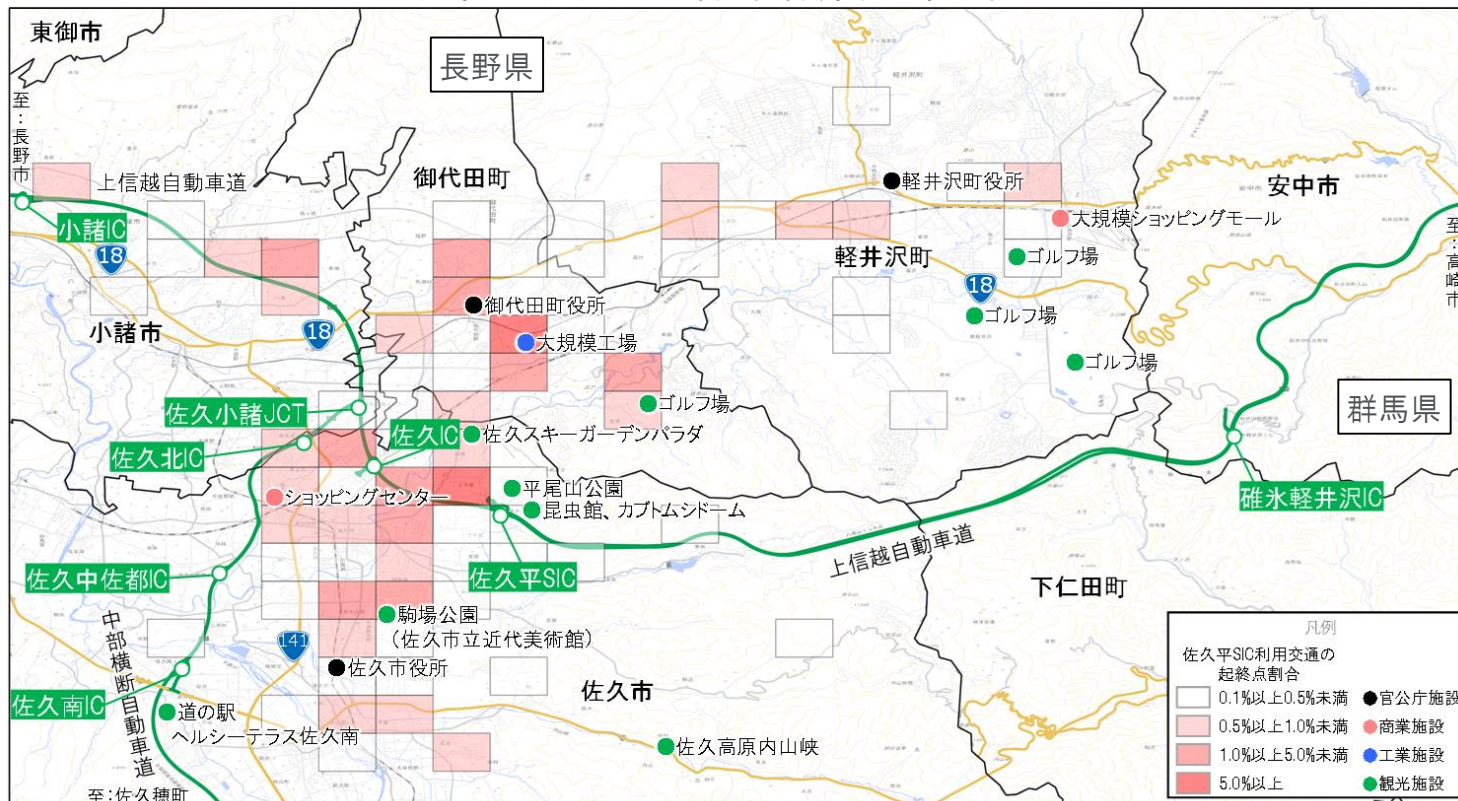
■整備効果の検証について

社会便益 (整備効果)	内容	具体的な 指標	使用データ等	検証の結果	整備効果の 検証時期
①高速自動車国道の有効利用	・佐久平SICの起終点分析	・利用交通の起終点の分布を分析	・ETC2.0データ	・市内及び周辺市町村の観光施設や大規模工場などの利用が多い傾向 ・冬期については、SICに隣接するスキー場の利用が多い傾向	令和1年8月 令和2年2月
②佐久市及び周辺市町村の利便性向上 (高速道路利用の向上)					
③地域振興 (地域産業の流通拠点、地域の営業利益の増収)	・観光客数推移	・利用者数の推移	・駒場公園利用者数 ・近代美術館入館数	・駒場公園の利用者数推移は、約1.9倍 ・近代美術館の入館数は、ほぼ横ばいで推移	・駒場公園 H18～R5 ・近代美術館 H18～R5
④佐久スキーガーデンパラダの活性化	・佐久スキーガーデンパラダの入場者数状況	・入場者数推移	・佐久スキーガーデンパラダの利用客数集計データ	・H18とR5を比較すると利用者数は増加している。	H18～R5
⑤軽井沢方面等の渋滞緩和(高速道路への転換)	・軽井沢町から碓氷軽井沢IC間の迂回状況	・迂回路周知及び利用状況	・アンケート結果	・キャンペーン・チラシの配布等により軽井沢方面への迂回ルート周知は進んでいる。	R4ドライブキャンペーンアンケート結果
⑥災害発生時の支援物資等運搬路	・災害発生時の利用状況	・災害発生時に災害復興等の支援車の利用状況	・利用実績など	・これまで災害時の実績無し	今後災害発生時に利用された場合、効果を検証

整備効果について

- ①高速自動車国道の有効利用
- ②佐久市及び周辺市町村の利便性向上(夏期 平日)

佐久平SIC利用交通の起終点割合(令和元年8月)



データ:ETC2.0プローブデータ(2019年8月)

・起終点:佐久平SICを利用した車の起終点を3次メッシュ(1kmメッシュ)毎に算出し、佐久平SICのETC2.0利用台数で除した割合を図化

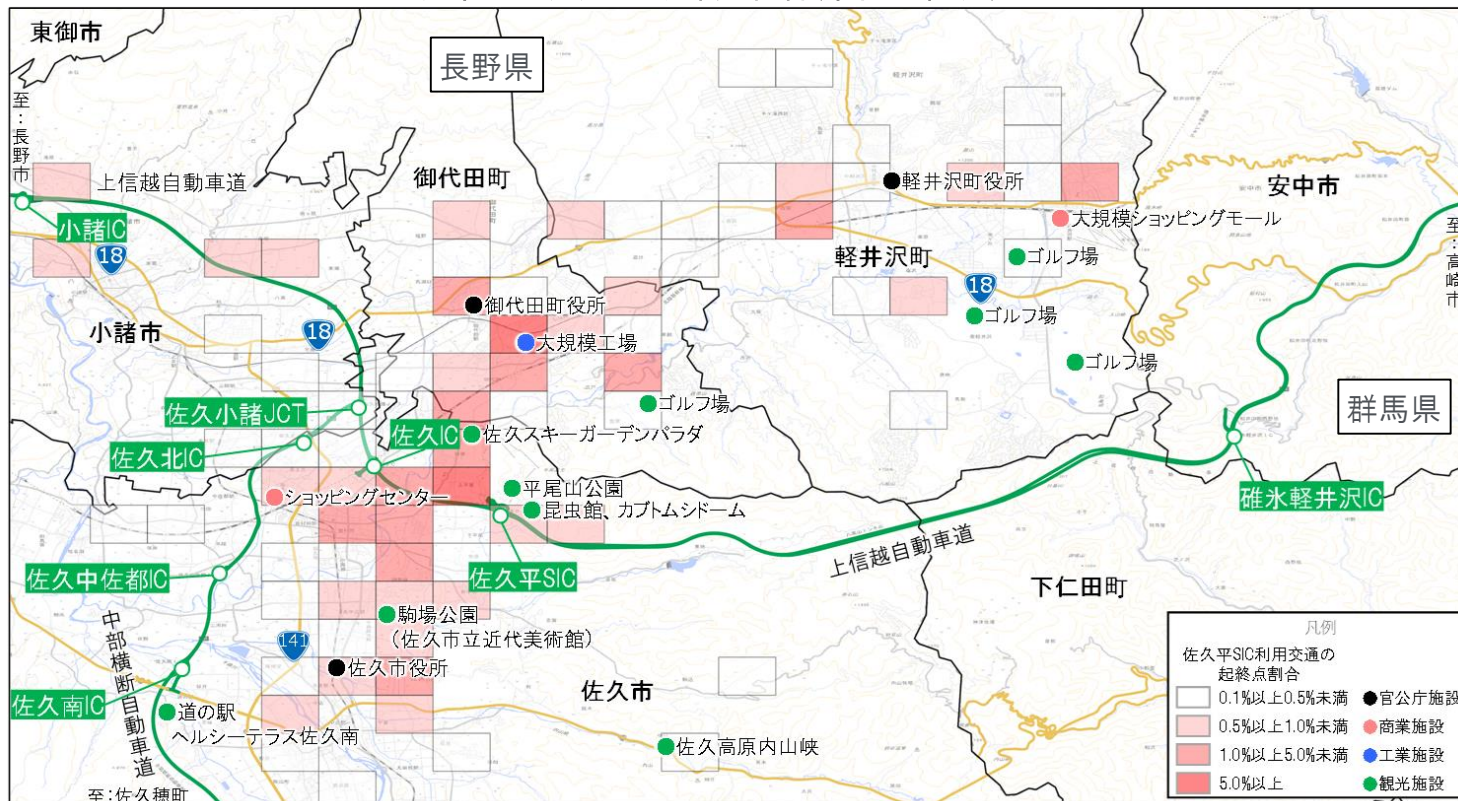
※ETC2.0はエンジンOFF/ONの前後の走行履歴(概ね500m程度)が削除されるため、本来の起終点と異なる地点がデータ上の起終点となることもある。

- ◎市内及び周辺市町村の観光施設や大規模工場などに起終点を持つ傾向が見られる。
- ◎軽井沢方面まで利用している交通も見られる。

整備効果について

- ①高速自動車国道の有効利用
- ②佐久市及び周辺市町村の利便性向上(夏期 休日)

佐久平SIC利用交通の起終点割合(令和元年8月)



データ:ETC2.0プローブデータ(2019年8月)

・起終点:佐久平SICを利用した車の起終点を3次メッシュ(1kmメッシュ)毎に算出し、佐久平SICのETC2.0利用台数で除した割合を図化

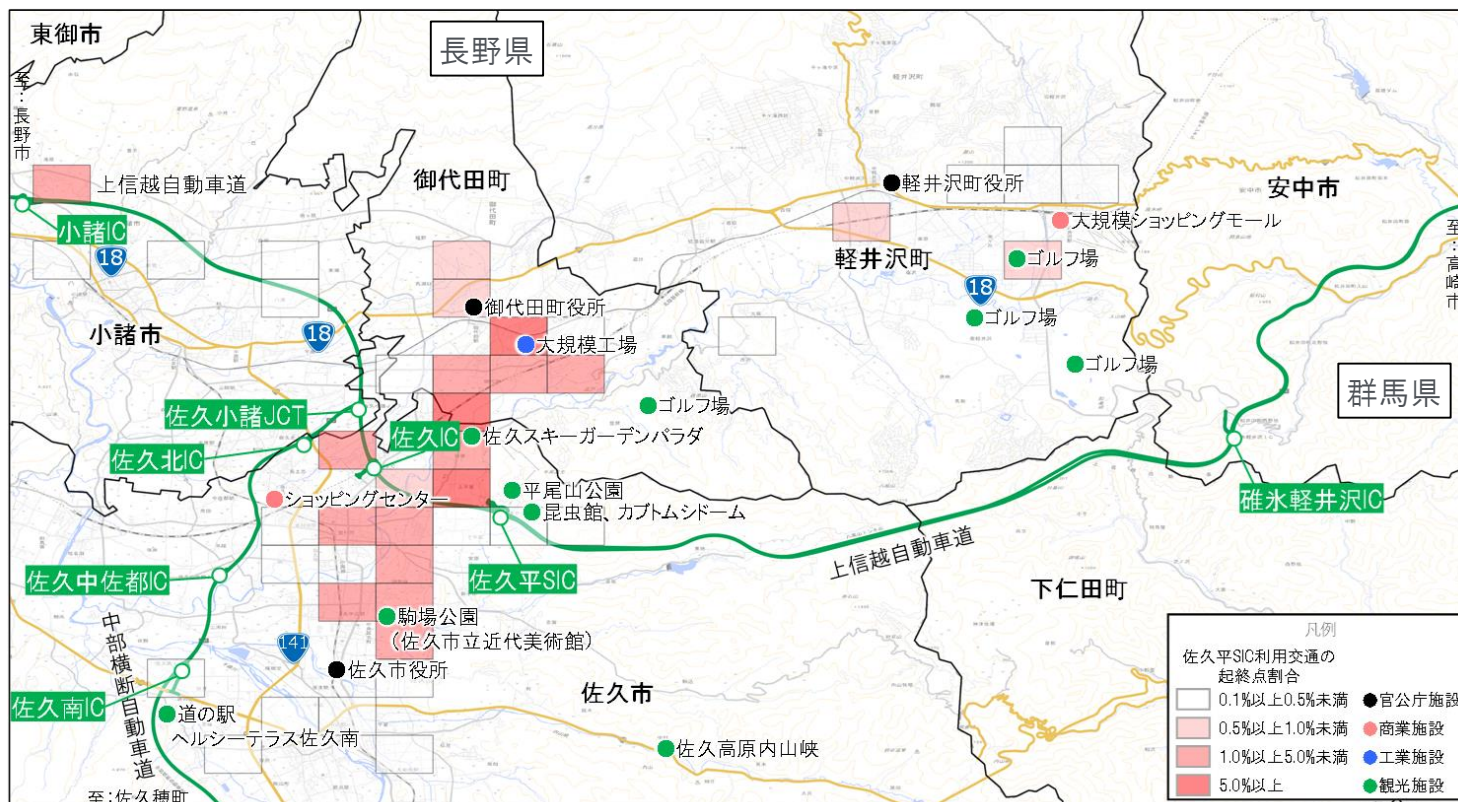
※ETC2.0はエンジンOFF/ONの前後の走行履歴(概ね500m程度)が削除されるため、本来の起終点と異なる地点がデータ上の起終点となることがある。

- ◎市内及び周辺市町村の観光施設や大規模工場などに起終点を持つ傾向が見られる。
- ◎軽井沢方面まで利用している交通も見られる。

整備効果について

- ①高速自動車国道の有効利用
- ②佐久市及び周辺市町村の利便性向上(冬期 平日)

佐久平SIC利用交通の起終点割合(平成31年2月)



データ:ETC2.0プローブデータ(2019年2月)

・起終点:佐久平SICを利用した車の起終点を3次メッシュ(1kmメッシュ)毎に算出し、佐久平SICのETC2.0利用台数で除した割合を図化

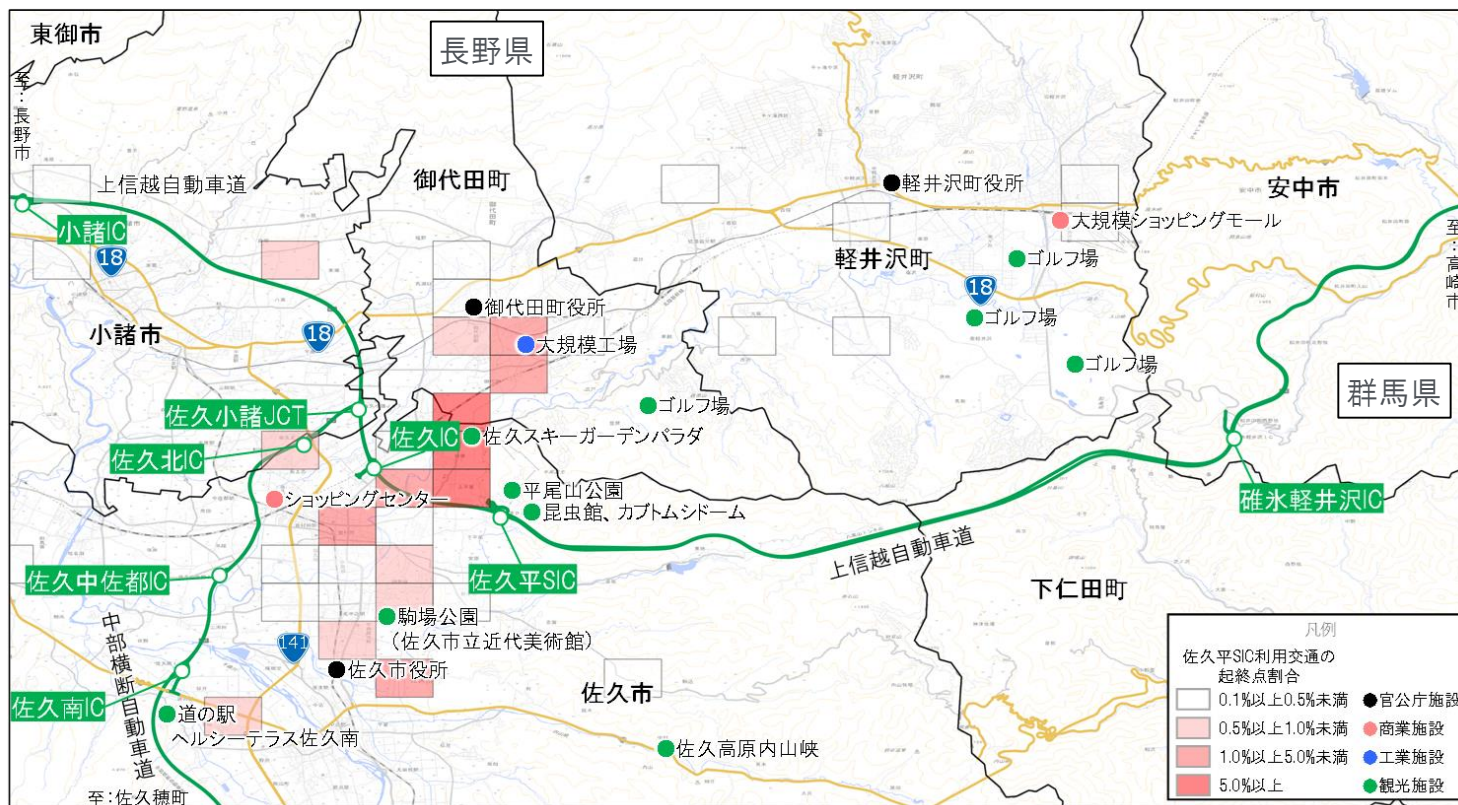
※ETC2.0はエンジンOFF/ONの前後の走行履歴(概ね500m程度)が削除されるため、本来の起終点と異なる地点がデータ上の起終点となることがある。

◎冬期については、主に隣接するスキー場(佐久スキーガーデンパラダ)の利用車が多い傾向にある。

整備効果について

- ①高速自動車国道の有効利用
- ②佐久市及び周辺市町村の利便性向上(冬期 休日)

佐久平SIC利用交通の起終点割合(平成31年2月)



データ:ETC2.0プローブデータ(2019年2月)

・起終点:佐久平SICを利用した車の起終点を3次メッシュ(1kmメッシュ)毎に算出し、佐久平SICのETC2.0利用台数で除した割合を図化

※ETC2.0はエンジンOFF/ONの前後の走行履歴(概ね500m程度)が削除されるため、本来の起終点と異なる地点がデータ上の起終点となることがある。

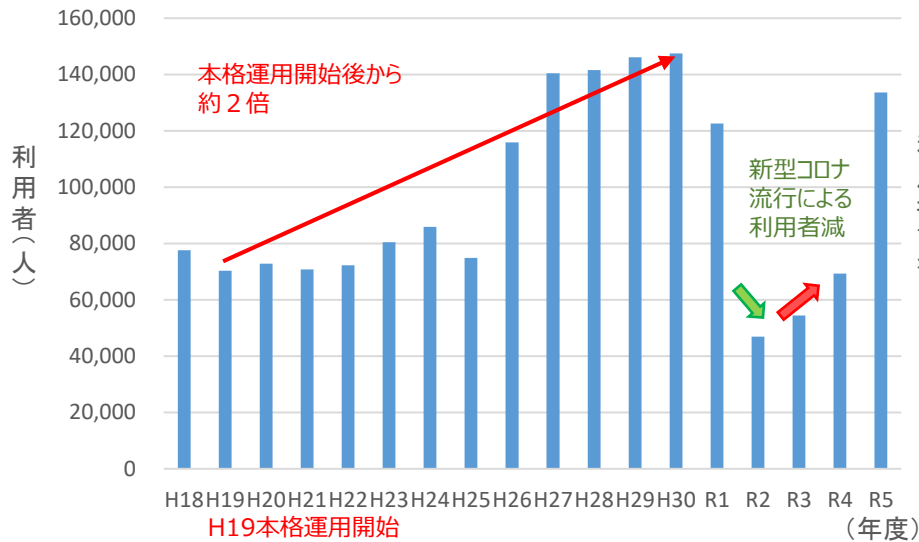
◎冬期については、主に隣接するスキー場(佐久スキーガーデンパラダ)の利用車が多い傾向にある。

整備効果について

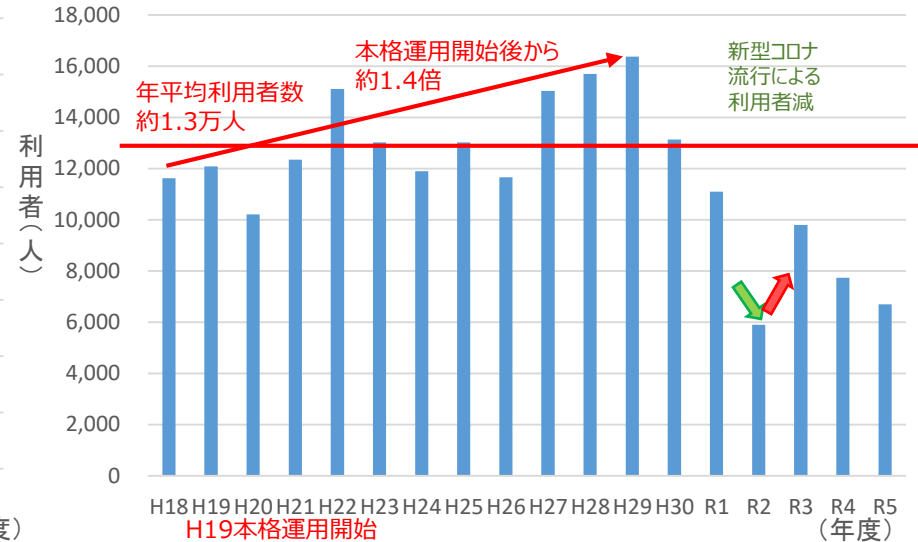
③地域振興

■ 駒場公園、近代美術館の利用者推移

駒場公園利用者数



近代美術館入館者数



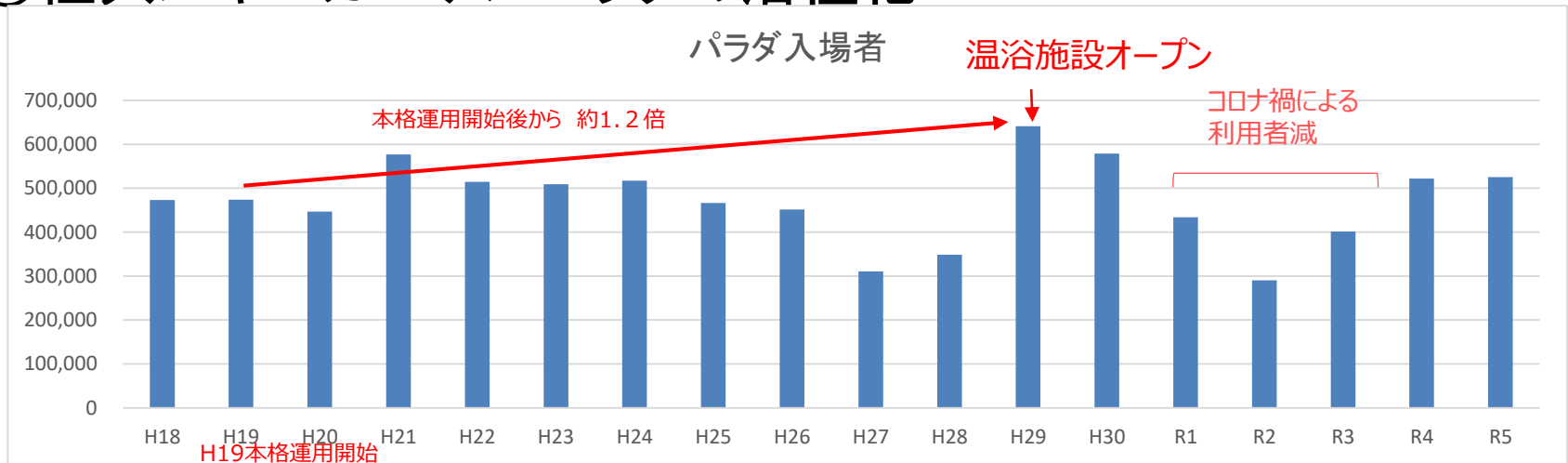
ETC2.0の起終点分析より、利用割合の多い駒場公園、近代美術館の利用者推移状況を整理

◎H18～H30までの駒場公園利用者数の推移は、スマートIC本格運用後のH19に比べてH30は、約2倍と利用者数が伸びてきている。

◎H18～H30までの近代美術館入館者数の推移は、スマートIC本格運用後のH19に比べてH29は約1.4倍となっている。R1以降は新型コロナの影響により減少している。

整備効果について

④佐久スキーガーデンパラダの活性化



→R1は駐車場工事・暖冬・新型コロナウイルスの影響で入場者減

■R4ドライブキャンペーン アンケートより

- ◎パンフレット記載の佐久平SICから軽井沢追分付近への迂回ルートを利用できた。
- ◎佐久平SICに直結しているパラダが温泉・トレッキング等で充実しており良かった。等

■佐久スキーガーデンパラダ聞き取り

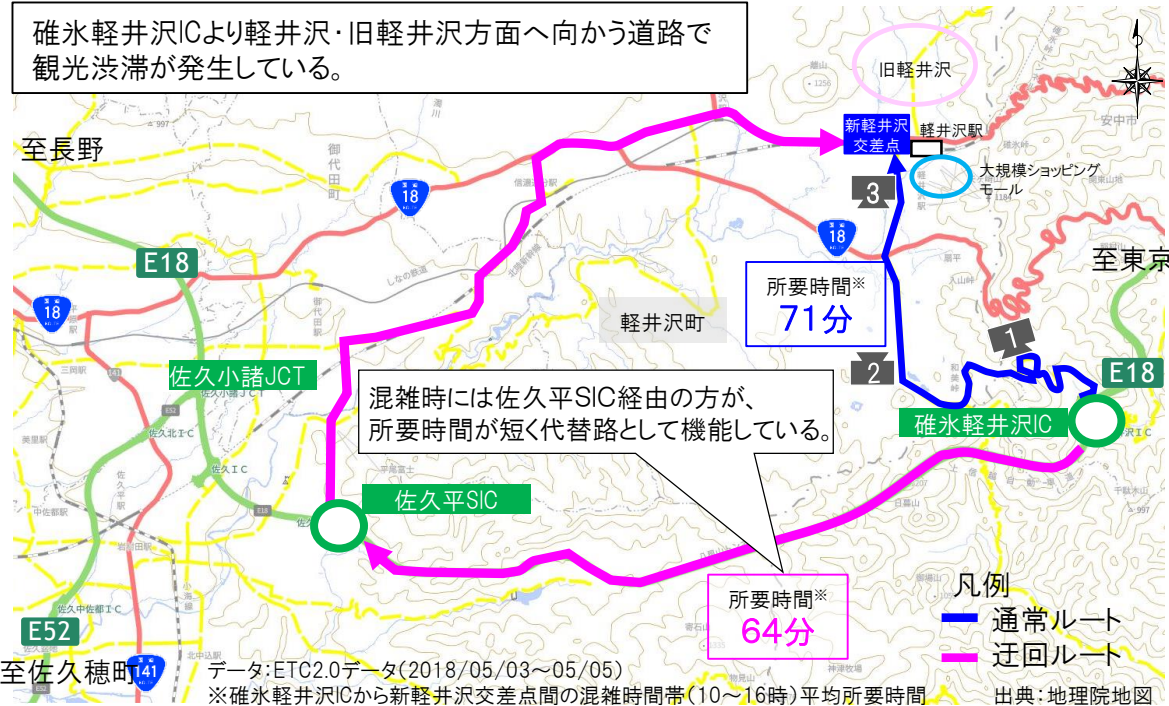
- ◎高速道路直結で各方面からのアクセスが良く、公園来場者はもとより冬季のスキー客や温泉利用者等からも好評で、観光拠点としての役割を存分に発揮していると思われる。

整備効果について

⑤軽井沢方面等の渋滞緩和

■渋滞箇所・迂回路図

碓氷軽井沢ICより軽井沢・旧軽井沢方面へ向かう道路で観光渋滞が発生している。



■R4ドライブキャンペーン アンケート結果

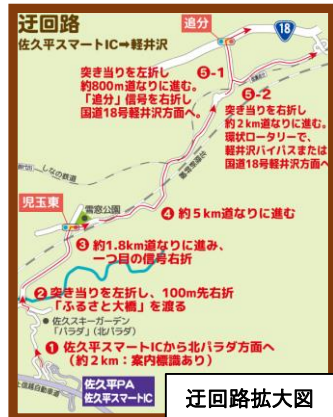
設問:佐久平スマートICから軽井沢方面への迂回路を通行したことはありますか。

- ◎通行したことがある 44.2%
- ◎知っているが、通行したことはない 23.43%
- 認知度は60%を超えている。**

起終点のデータを見ても、軽井沢への利用が一定数あることが確認できる。(P14)



ドライブキャンペーン・チラシ等の配布を通して、軽井沢方面への迂回路の周知は進んでいると考えられる。



写真① 軽井沢方面 県道渋滞状況 (H30年5月4日)



写真② 軽井沢方面 県道渋滞状況 (H30年5月4日)

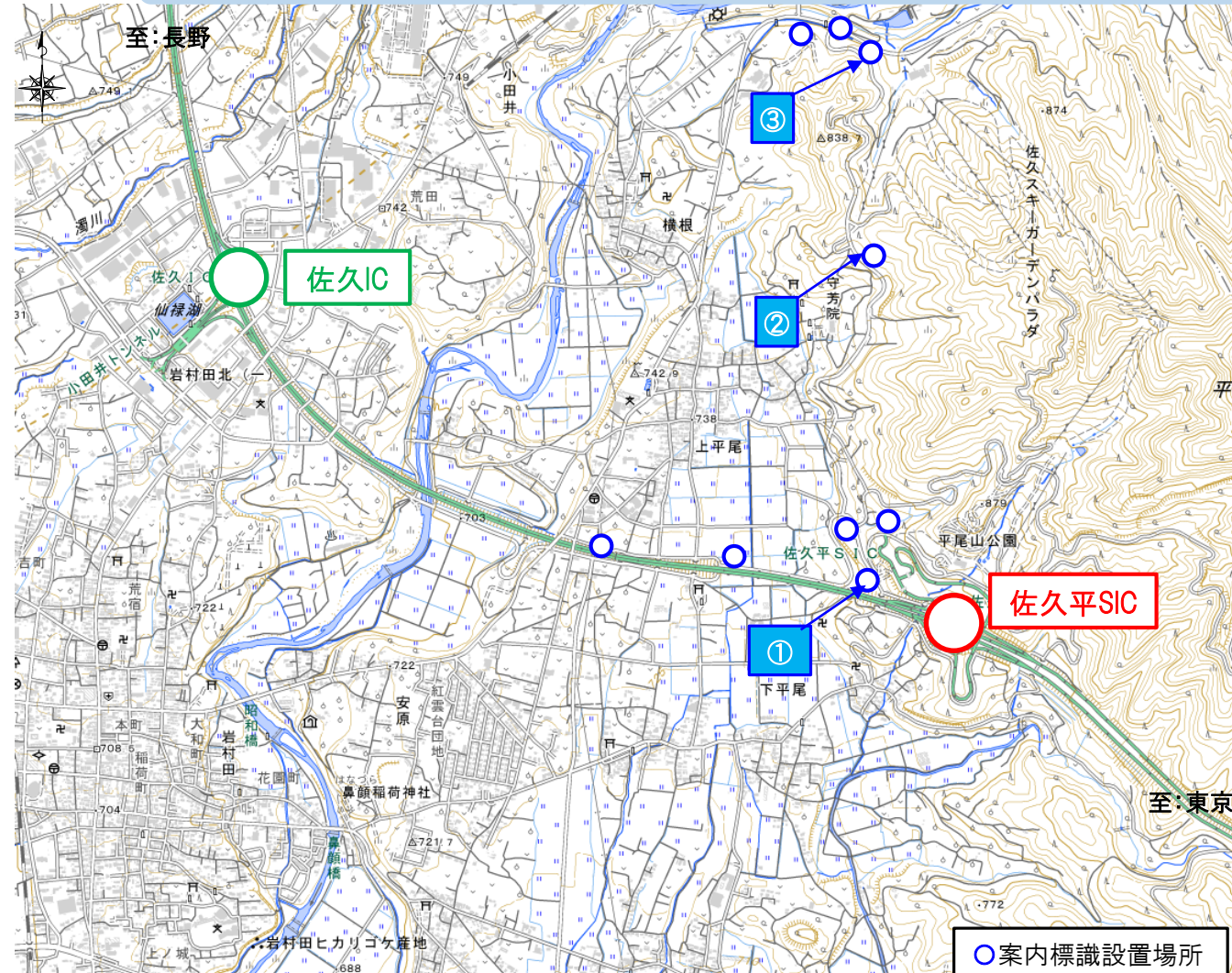


写真③ 旧軽井沢方面 県道渋滞状況 (H30年5月4日)

利便性向上方策について

■現在の取り組み状況

- ・ スマートIC利用者の利便性向上のため、案内標識の設置・補修



①周辺案内標識設置



②SIC案内標識設置



③SIC案内標識設置



○案内標識設置場所

利用促進方策について

■ 現在の取り組み状況

- ・ 信州佐久ドライブキャンペーンを実施し、市内施設の優待キャンペーン
- ・ キャンペーンパンフレットに、軽井沢周辺への所要時間短縮となる迂回ルートを掲載
- ・ 佐久平PAに設置したデジタルサイネージで、市内観光情報の案内

ドライブキャンペーンパンフレット



軽井沢周辺への迂回ルート掲載

○ドライブキャンペーンパンフレット配布場所

- ・ 近隣のSA、PA
- ・ 近隣の道の駅
- ・ 市内観光施設、市内宿泊施設、飲食店等
- ・ 近隣市町村、友好都市等

○市内施設の優待内容

- ・ パンフレットに優待券添付
温泉等の入浴料割引、飲食店での割引やサービス等
- ・ 市内観光施設の割引
- ・ アンケート回答者の中から抽選でプレゼント
旅館の宿泊券、入浴券、農産物等

デジタルサイネージでの観光案内



佐久平PA・上り



佐久平PA・下り



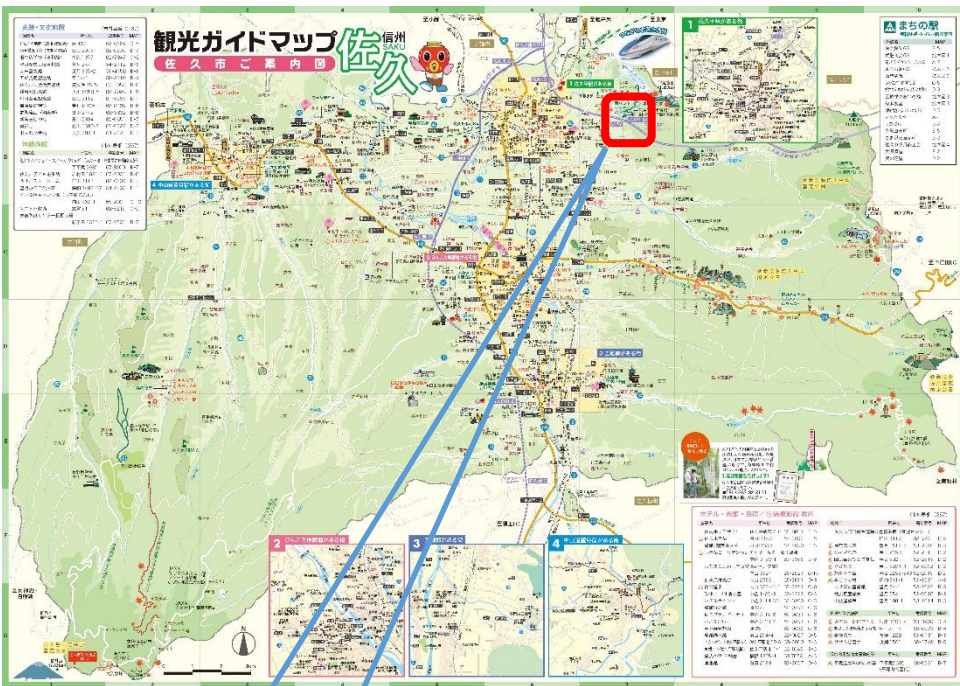
■ 今後の取り組み

- ・ 引き続き上記施策を実施

利用促進方策について

■観光パンフレット、ホームページによる広報活動

観光パンフレットへの佐久平スマートICの記載や、ICの周辺の観光についての記載



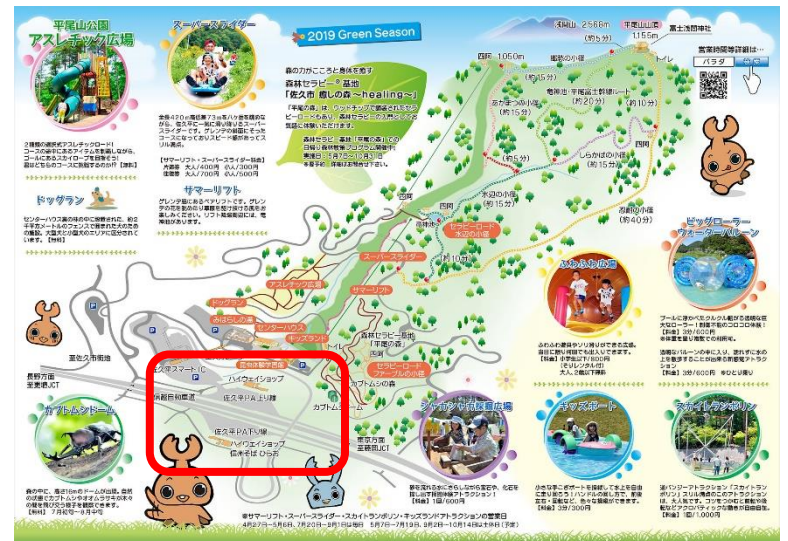
出典: 佐久市観光協会公式サイト

観光パンフレットには
佐久平スマートICの記載

○観光パンフレット配布施設

- ・市内道の駅
- ・銀座NAGANO(アンテナショップ)
- ・市内宿泊施設、飲食店等

佐久「パラダ」へは佐久平
スマートICの利用を記載



出典: 佐久平ハイウェイオアシス「パラダ」公式サイト